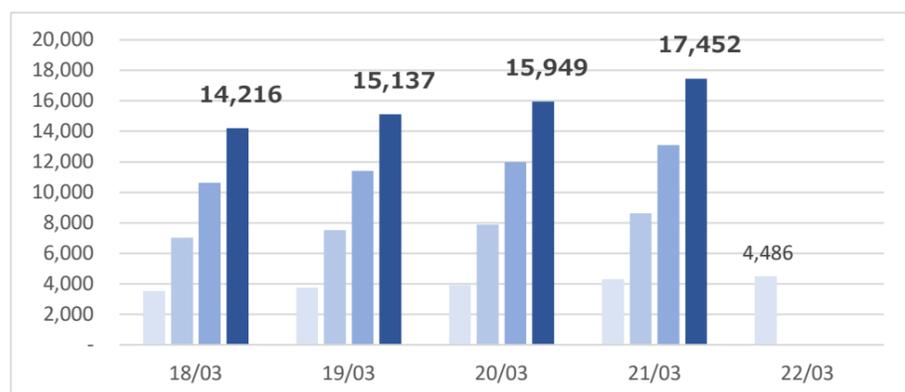


財務ハイライト（連結）

売上高

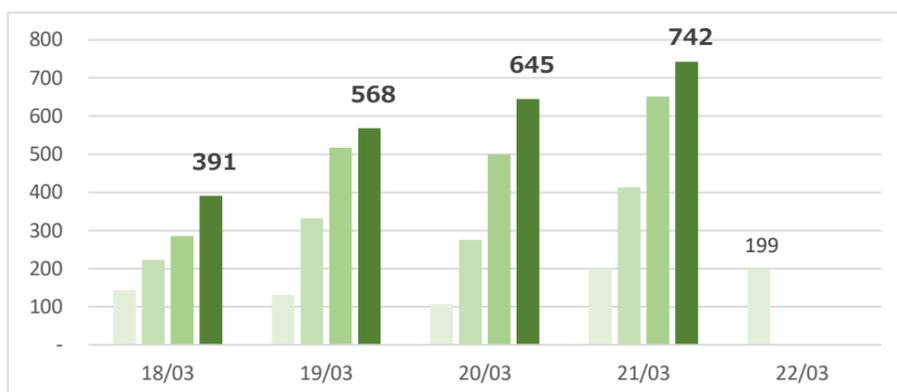
単位：百万円



	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	14,216	15,137	15,949	17,452	
3Q	10,628	11,393	11,980	13,106	
2Q	7,011	7,514	7,884	8,637	
1Q	3,526	3,747	3,918	4,307	4,486

営業利益

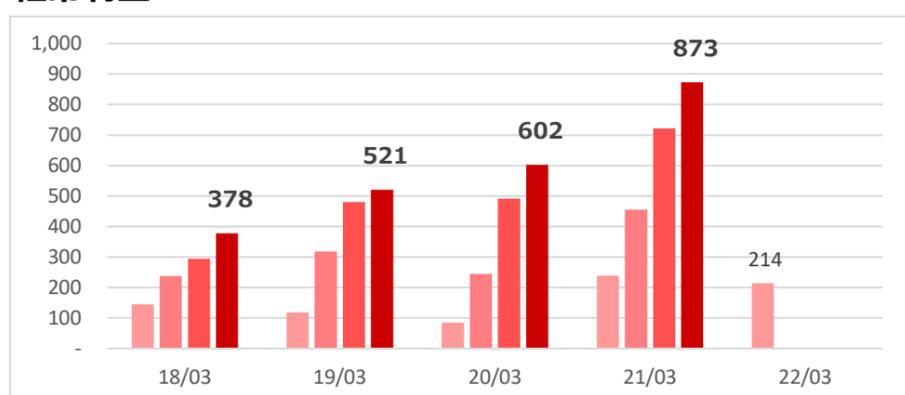
単位：百万円



	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	391	568	645	742	
3Q	285	517	500	652	
2Q	223	332	275	413	
1Q	143	131	107	201	199

経常利益

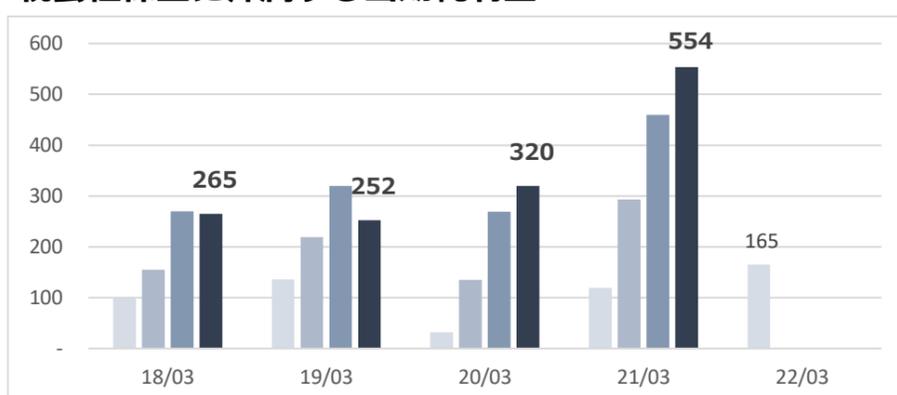
単位：百万円



	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	378	521	602	873	
3Q	294	480	491	721	
2Q	237	318	244	456	
1Q	144	118	85	239	214

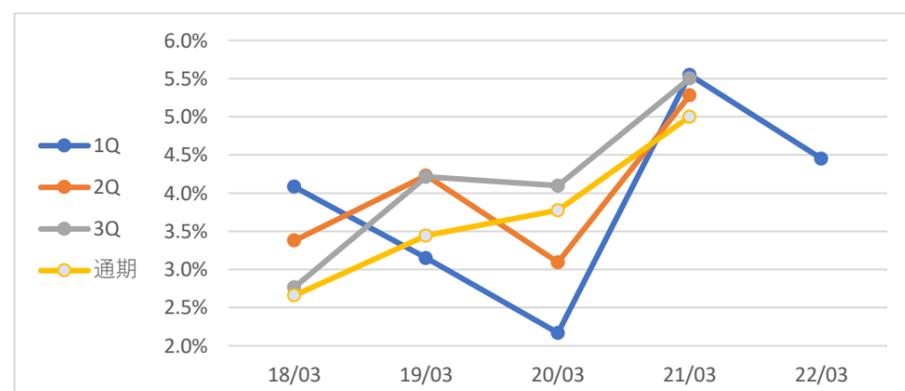
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



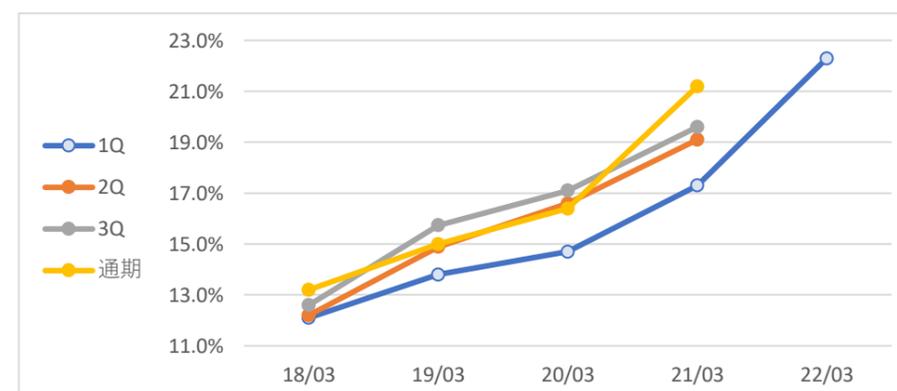
	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	265	252	320	554	
3Q	270	320	269	460	
2Q	155	219	135	293	
1Q	100	136	32	119	165

経常利益率



	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	2.7%	3.4%	3.8%	5.0%	
3Q	2.8%	4.2%	4.1%	5.5%	
2Q	3.4%	4.2%	3.1%	5.3%	
1Q	4.1%	3.1%	2.2%	5.5%	4.5%

自己資本比率



	18/03	19/03	20/03	21/03	22/03
通期	13.2%	15.0%	16.4%	21.2%	
3Q	12.6%	15.7%	17.1%	19.6%	
2Q	12.2%	14.9%	16.6%	19.1%	
1Q	12.1%	13.8%	14.7%	17.3%	22.3%

当期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2021年4月には三度目となる緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動が大きく停滞し厳しい状況が続きました。高齢者を中心に新型コロナウイルスワクチンの接種が本格的に始まり、その効果が期待されるものの、変異ウイルスによる感染再拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、需要動向を捉えた既存サービスの高付加価値化や新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねたことにより、特に企業・法人福利厚生サービス事業の売上が増大し増収となりました。一方、介護総合サービス事業のセグメント利益が伸び悩んだ結果、経常減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,486,653千円（前年同期比4.2%増）、営業利益199,694千円（同0.8%減）、経常利益214,379千円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益165,233千円（同37.8%増）となりました。